**「ＩＣＴ導入モデル事業」「ロボット等導入支援事業」**

**をご存知ですか？**

・支援記録や請求業務に時間がかかっている、負担に感じている

・入浴、排泄、移動・移乗等の支援業務の身体的な負担が大きい

といった悩みを抱えていらっしゃる事業所や施設の方はいらっしゃいませんか？

本市では、表記事業にて補助金を活用し、上記のような課題を解決した事業所等がありますので、いくつかご紹介します。事業所等の運営や支援の際に困っているという事業所や施設の方がいましたら、是非ご参照ください。

**１.事業の概要**

**＜ＩＣＴ導入モデル事業＞**

パソコンやタブレット、ソフトウェア等のＩＣＴの活用により、障害福祉サービス事業所等における業務効率化及び職員の業務負担軽減を推進するため、ＩＣＴの活用モデルとなり得る障害福祉サービス事業所等に対しＩＣＴを導入する際の経費の一部を支援する事業。

補助対象経費：パソコン、タブレット、インカム、ソフトウェア等

補助率：３／４（上限あり）

**＜ロボット等導入支援事業＞**

　ロボット技術の活用により、介護業務の負担軽減を図り、働きやすい職場環境の整備や安全安心な障害福祉サービスの提供等を推進するため、障害者支援施設事業者等が介護ロボット等の導入する際の経費の一部を支援する事業。

補助対象機器：移乗介護、移動支援、見守り機器等

補助率：３／４（導入する機器により上限あり）

※あくまでも令和６年度の事業内容になります。令和７年度以降については、事業内容が変更になる場合がありますのでご了承ください。

※令和７年度の事業の詳細については、国から連絡があり次第一斉メールにて送付予定です。

**２.市内導入事業所等の活用事例**

**＜ＩＣＴ導入モデル事業＞**

〇ソフトウェア・タブレットの活用（生活介護）

　課題：・支援記録を紙媒体で作成しているため、毎月の書類管理、データ管理に多くの時間を要している。また、請求業務も紙の記録をもとに作成するため、時間がかかる。

・職員間のデータ共有や報告事項なども紙ベースの為、報告漏れ等の問題が発生するケースがある。

　導入機器：ソフトウェア、タブレット

　効果：・支援記録業務と請求業務を電子化し、支援記録業務が年間54時間削減でき、請求業務も年間120時間削減できた。

　　　　・支援記録を電子化したことで、職員間での共有が容易になった。

**＜ロボット等導入支援事業＞**

〇移乗介護でロボットを活用（グループホーム）

課題：障害区分が重い方が多いため、職員の身体的な負担が大きい。

導入機器：移乗介護サポートロボット

効果：・移乗介護の際に職員２人で対応していたが、ロボットを導入したことで職員１人でも安全な介助ができるようになった。

〇夜間の見守りに見守り機器を活用（施設入所支援）

　課題：夜間は巡回による確認に頼っていたため、職員が間に合わず利用者が離床時に転倒してしまうことがあった。

　導入機器：センサーマット

　効果：・利用者の離床時にすぐに職員が気づけるようになり、転倒のリスクが減った。

　　　　・利用者をお待たせする時間が減った。

そのほかにも市内事業所等における活用事例がありますので、興味のある方は下記問い合わせ先までご連絡ください。

問合せ先：静岡市役所障害者支援推進課自立支援係

<TEL:054-221-1098>　E-mail:shougai-support@city.shizuoka.jp